

希望

クリスマス。イエス様は家畜小屋に生まれて、夜に包まれて、飼い葉桶に寝かされている。この幼子イエスがこの闇の力をくつがえす主人公です。そのそばには若い母親と父親、マリアとヨゼフがいます。近くにいた羊飼いたちがやってきます。天使が「いと高き所には栄光 神にあれ、地には平和、御心にかなう人にあれ。」(ルカ 2.14) と喜びの声を上げます。いかにも闇の力がこの世界を支配して、権力者を使って動かしているように見えますが、その実こんなに貧しい幼子イエスと、その母マリアと、ヨゼフと羊飼いたちと、それを見守る天使たちを通して、この支配から、この罪から、この悪から、この闇から、新しい生き方が始まりますよと伝えているのです。

この歴史も世界も動かしているのは、この小さな幼子イエスなのです。権力と力を持った世界が全てであると思っている私たちに「違う」と言われています。こんな小さな幼子イエスを通して、人の生き方そのもの、人間がいろんな闇から解放される生き方を示してくださるのです。このイエスにならって貧しい生き方、質素な生き方、素朴な単純な生き方にならって生きようとするならば、私たちも世界を動かす主人公の一人になれるのです。表面は闇の力が支配しているようです。私たちが生きている社会も何か悪いことばかりのようです。海外、国内の分裂、殺人、戦争を見ていると、闇の力を感じます。私たちの生活においても、私たちは闇の力に支配されて、自分の思う通りにならない、不自由な世界を生きています。自分で自分がどうにもならないのです。

罪のある所に神の手が伸びてきます。私たちのみじめさ、悲しみ、至らなさ、そこに神様がいます。幼子イエスの形で、この世界の悪、罪、その中に神の手が伸びるのです。「単純に生きなさいよ」とか「素朴に生きなさいよ」と呼びかけ、傲慢に人と争って、ののしり合って生きようなどをしてはいけないよと、呼びかけているのです。弱々しく貧しく生まれた幼子イエスを通して、私たちに新しい生き方を教えて下さっているのです。いかなる闇の力、いかなる罪があっても、神様の愛はもっと

大きな力で私たちを支配して下さいます。2025年のクリスマスを味わいましょう。ことばが私たちの希望となり、ことばが私たちの人生を照らし、ことばが私たちを温めてくれるのです。

降誕されるイエスを見つめ、そこから私たちの命、希望、そして愛をくみ取っていききたいものです。